

少子化対策・子育て支援専門部会
(令和5年8月30日開催) 資料抜粋

1 ふりかえり

<重点的検討課題①>

20代前半の女性の社会減への対応

【現状】

- ・ 20～24歳の女性の社会減による**男女数の不均衡**は、**今後の出生数に大きく影響**。
- ・ この時期は就職期と重なるが、県内企業は男性に比べ**女性から就職先として選ばれていない**。

【検討の方向性】

女性の転入促進に向けて、

- ・ **官民一丸**となり、
- ・ **女性が働きやすく、活躍できる環境づくりを推進**するとともに、
- ・ **より若い世代へのアプローチ**に取り組む。

20代前半の女性の社会減への対応

【20代前半女性の社会増に向けたアクション】

- 若い女性に魅力ある富山県企業の創出
～就職期の女性の選択肢に入り、「不戦敗」を回避～
 - ・若者に刺さる企業情報の発信強化
 - ・若者のニーズに応じた採用活動の展開
 - ・女性が活躍できる企業の創出、誘致

- 古い価値観に基づく雇用からの脱却
 - ・若者・女性が活躍できる職場づくりの一層の推進
 - ・職場におけるアンコンシャス・バイアスの解消
(採用配置、職域拡大、育児期間中の活躍など)

1 ふりかえり

<重点的検討課題②>

子育て家庭の育児の負担感の軽減

【現状】

- ・ アンケート結果(子育て支援サービスに関する調査)では、**こどもを増やすにあたっての課題として、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」「妊娠・出産・育児の心理的・身体的負担」が多数**となっている。

【検討の方向性】

これらの負担感を軽減するため、

- ・ **経済的支援の拡充**や**共働き・共育ての推進**、**子育て支援サービスの利用促進**などに取り組み、
- ・ **妊娠前から出産、子育て期までの切れ目のない支援を充実し、**
- ・ **子育て家庭のウェルビーイングの向上**を図る。

<重点的検討課題②>

子育て家庭の育児の負担感の軽減

【子育て家庭のウェルビーイング向上に向けたアクション】

- 妊娠前から子育て期までの切れ目ない支援
 - ・ プレコンセプションケアの普及
 - ・ 産前・産後ケア体制の充実
 - ・ 経済的支援を一体として実施する伴走型相談支援
- 保育環境の充実強化
 - ・ 保育士人材確保対策、病児保育の広域化
- 若者に向けて子育ての魅力を伝える取組み
 - ・ 育児に前向きになれる視点からの情報発信
- 社会全体で子育てを応援する（担う）機運醸成・意識改革
 - ・ 地域社会や企業、家族に向けた取組み